



令和4年6月1日号 創刊号 発行内外政治研究G

憲法公開フォーラム 櫻井よしこ氏 「憲法前文の精神を引き破れ」

5月3日、東京都内で「民間憲法臨調」と「美しい日本の憲法をつくる国民の会」による公開憲法フォーラムが開かれました。岸田文夫首相がビデオで憲法改正に向けたメッセージを伝え、共同代表の桜井よしこ氏が「(他国の善意に頼る)憲法の前文の精神を引き破るのが今の私たちの責任」と強調。「(世論調査を見ると)国民の方が政治よりはるかに先を行っている」と国会の遅滞とした動きを叱咤しました。

フォーラムには立憲などを除く与野党幹部も出席、「(政党間で質疑する)衆参の憲法審査は真剣勝負の格闘場だ」などの決意の言葉もあった。

朝日調査も「憲法改正 56%」で過去最多に

マスコミ各社は憲法記念日に合わせ世論調査を実施しました。朝日の調査では「今の憲法を変える必要があるか」の質問に「ある」

6%、ない37%の結果が出て、昨年「ある45%、ない44%」の賛否拮抗から大きく変化し、郵送調査を始めた平成25年以来、改憲派が最多に。

毎日「岸田首相の在任中の憲法改正の是非」について、「賛成44%、反対31%」の結果を報じました。NHKの調査結果は、改正について「必要がある35%、必要がない19%、どちらともいえない42%」。読売は「賛成60%、反対38%」でした。

一方、憲法改正による緊急事態条項については産経が「賛成72.4%、反対19.7%」、共同通信も「賛成69%、反対30%」との結果が出ました。

ただ、憲法9条改正については、朝日は反対が上回り、NHKと共同は賛否が拮抗。漠然と「9条改正」の是非を訊くのではなく、「自衛隊明記」の是非を問う設問であれば、結果が異なるとも指摘されています。

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」 YouTubeチャンネル



5月3日付朝日新聞の朝刊1面

参照記事：産経「正論」「動き始めた憲法審査会に期待」百地章氏
*会員登録(無料)

発行にあたって

内外政治研究Gは、「日本会議」の国民運動を支援するマスコミ人や大学の研究者などで構成する研究グループです。憲法改正問題を柱として、皇位継承や安全保障など我が国が直面する課題について、毎月2回、新聞形式のマガジンで全国の有志に発信します。QRコードやURLで参考情報や関連記事も掲載します。

公開質問状に半数の45議会在が回答 選択的夫婦別姓 「疑念もたれ反省」も

選択的夫婦別姓推進派による呼びかけで地方議会が可決した意見書に「賛成・容認が66.9%」とする内容が記載されていた問題で、有志のジャーナリストらで作る「政経情報研究会」が2月下旬、根拠を問う95の市・区議会に公開質問状を出しました。4月初旬の期限までに45議会から回答があり、その正当性を明確に示すことができた議会はなく、「疑念をもたれたことを反省する」などの回答もありました。

4年ぶりの世論調査 「別姓賛成」3割未満

内閣府は令和4年3月下旬、に女性活躍担当大臣の野田聖子氏は「(通称使用法制化の質問は)どんな法律かが誰にも想像つかず、非常にわかりにくい」などと批判しましたが、朝日デジタルのインタビューに答えた世論調査の専門家である松本正生・埼玉大名誉教授は、「前回までの質問は」選択肢の一文が長すぎて、どこに焦点があるのかわからず、意味がとりづらい」としています。

詳しくは政経情報研究会ホームページまで。

